

図書館戦争



表現の自由が必要以上に制限された正化31年の日本、本を通して人権を侵害する表現の取り締まりを目的とした「メディア良化法」が施行される。これにより、人々は個人のお気に入りの本を回収されて燃やされてしまった。そこで、図書隊は「図書館の自由に関する宣言」を元に「図書館の自由法」を制定し、本の自由を守るべく、やがて自ら武装して防衛制度を確立する。

主人公の笠原郁は、高校生の頃、図書隊の人に助けられたのをきっかけに図書隊に憧れ、大学卒業後に入隊する。そして図書館の自由を守るために、上司の堂上篤たちと活躍する。

ある日、情報歴史図書館が閉館されることになる。その図書館にあるすべての資料は関東図書隊に移管されることになったが、その中には『メディア良化法』に関する報道資料が含まれていた。メディア良化委員会はその報道資料を狙っているため、移管の日には図書隊とメディア良化委員会とが衝突することになった。

裏表のない真っ直ぐな性格の笠原郁と、厳しいが優しい堂上教官、二人の掛け合いが微笑ましく、また作者の世界観に魅了される一冊です。

体育学部3年 松木 莉夏

ヨシダナギの拾われる力

著者であるヨシダナギは、主にアフリカをはじめとする世界の少数民族や先住民を被写体に撮影する、日本の女性写真家です。また、TBSのバラエティー番組「クレイジージャーニー」で「服を脱ぎ民族と同じ姿になる写真家」として紹介され、一躍、時の人となりました。そんなヨシダナギが「ぬるっとやり抜く」仕事術や哲学、人生論などを自ら執筆し、まとめたものが本書です。

私はこの本を読んで、物事を柔軟に考えられるようになり、なんだかとても気持ちになりました。また、一晩でさっと読める人生のためになる内容で、写真も多く含まれていてとても読みやすかったです。自分や物事に対してネガティブに考えてしまう人、自分がやらなきゃ…自分が自分が…と疲れ気味の人などに読んでほしい一冊です。

そして今回、私がLIVRE書籍紹介を書くにあたって利用したのが図書館の「リクエスト」というものです。自分が読みたい本が図書館に所蔵されていなかった場合や、自分では手を出しにくい値段の本でも、リクエストをすれば読むことができます。なので皆さんも是非、リクエストを上手く利用してたくさん本を読んでください。



◎ヨシダナギの拾われる力 (ヨシダナギ 著／CCCメディアハウス)

体育学部2年 佐藤 真結

映画 DIVE!!

問題：「翼JAPAN」とは、何の競技の日本代表チームの通称？
答え：飛込競技

東京2020オリンピックの正式種目でもある飛込競技を知っていますか？
飛び込みから着水まで、わずか2秒弱。

映画『DIVE!!』はこの飛込競技に魅せられた中学生たちがオリンピック出場を目指して競い合う、恋あり友情あり夢ありの青春映画です。

2008年6月公開のこの映画、今ではいろいろな映画やドラマに出演されている林達都さん、池松壮亮さん、溝端淳平さんが10代のころ、3人で主演を務めています。元オリンピック選手の金戸恵太さんが選手役の俳優さんたちの演技指導に当たられ、劇中でも川口コーチ役として出演されています。貸出はできませんが、図書館視聴覚資料コーナーで見ることができます。ぜひご利用ください。



◎DIVE!! (監督 熊澤尚人・原作／脚本 協力 森 絵都)

図書館事務室主査 大浦 京子

9:00～13:00	9:00～14:00	9:00～16:00	9:00～17:00
9:00～19:00	9:00～20:00	終日閉館	未定

2019年 11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2019年 12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2020年 1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2020年 2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

2020年 3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

LIVRE

リーヴル

学校法人藤村学園 東京女子体育大学・短期大学附属図書館報
2019秋号 No.30

月夜の浜辺 中原中也

月夜の晩に、ボタンが一つ
波打際に、落ちていた。

それを拾って、役立てようと
僕は思ったわけでもないが
なぜだかそれを捨てるに忍びず
僕はそれを、袂に入れた。

月夜の晩に、ボタンが一つ
波打際に、落ちていた。

それを拾って、役立てようと
僕は思ったわけでもないが
月に向ってそれは抛れず
浪に向ってそれは抛れず
僕はそれを、袂に入れた。

月夜の晩に、拾ったボタンは
指先に沁み、心に沁みた。

月夜の晩に、拾ったボタンは
どうしてそれが、捨てられようか？



「死ぬんじゃねーぞ!!」 いじめられている君はぜったい悪くない

これまで非行少年の問題に興味関心を持ち、様々な資料を読んできました。10年位前から若者の自殺について調べるようになりました。自殺者の数は、平成10年から平成23年まで年間3万人以上でした。その後次第に減少し、平成30年には2万840人になりました。しかし、10代（10歳から19歳）の若者の自殺者数は横ばいで、30年は29年より増加しています。原因は多様で複合的です。いじめが原因の自殺もあります。

2学期の始まる9月1日が自殺の特異日のため、各教育委員会は、当日欠席した生徒に教員が直接休んだ理由を聞くよう要請しています。そんな時、書店で見つけたのがこの本です。歌手でタレントの中川翔

子さん（愛称：しょこたん）が、自身のいじめられた体験を記して、若者に自殺を思いとどまるよう訴えています。最近までいじめられていた10代の若者との対談も収録されていて、インパクトが強く説得力があります。本学の1・2年生には10代の学生がいます。もしや悩みを抱えていないだろうか、苦しんでいないだろうかなどと考えてしまいました。学生のサインを見落とさないようにしたいと強く思いました。



◎「死ぬんじゃねーぞ!!」(中川 翔子 著／文藝春秋)

キャリア教育研究室 梅澤 秀監

江戸の教育力： 近代日本の知的基盤

ワールドカップなどの世界大会で選手の応援にやってきた日本人サポーターが、試合が終わるとスタジアムのゴミを拾って帰る様子や、自然災害に見舞われ避難所で水や食料などの物資を受け取る日本人が整然と列に並んで順番を待つ姿が、近年外国人から注目され、日本人の思慮分別のある行動が高く評価されている。このような日本人の気質が評価されたのは、最近だけではない。

さかのぼること、江戸時代、さらには戦国時代。当時の日本を訪れた外国人宣教師や外交官、医師などは、日本人の学びに対する意欲や思慮深さに感嘆し、その教育力の高さに驚いたという。一方で現在の教育界は、主体的で対話的で深い学びの推進や地域の教育力の向上、いじめや体罰防止の対策など、多くの課題をかかえている。これらは近代教育のほころびか、限界か…。

近代教育が発足する前の江戸時代までの教育が、現在の課題解決の糸口を示してくれるのではないか。この図書が、そんな思いを抱かせた。教員を目指す人、教育に関心のある人にお薦めします。



◎江戸の教育力：近代日本の知的基盤(大石 学 著／東京学芸大学出版会)

体育史研究室 藤坂 由美子

新任の先生方からの 書籍紹介

重力とは何か -アインシュタインから超弦理論へ、宇宙の謎に迫る-

私たちは、他人と意見が異なっても「あの人にはあの人の考え方があるのだ」と理解し、つき合うことができます。しかし、自然科学者は、状況に応じていくつもの考え方が存在することをよしとせず、あらゆる条件においても現象を説明できる統一理論を追究してきました。この本は、「重力」に焦点をあて、科学者たちが、どの物理現象も説明できる理論を求め続けてきた様子が書かれています。

古代では、物質そのものに「本来の場所に戻る性質」があると考えられており、中世まで重力もこの考えに基づいて説明されていました。そして天体は、地上とは違う「天界の法則」によって動いていると理解されていました。そんな時代にニュートンは、物体に働く「力」を明確に定義したことで引力が「万有」であることに気づき、それまで別世界と

あくなき向上心

日本古来の武道は、三世代、そして老若男女が実践できる生涯スポーツとしての意義を持っており、現在では世界中で愛好されています。今回紹介させていただく本は、その武道の中でも、本学の実質的創始者・藤村トヨ先生とも関わりの深い薙刀（なぎなた）をなんと七十年以上実践されてきた女性・澤田花江氏（1916-2010）の講演録、連載等をまとめたものです。

私は大学院時代にこの本と出会いましたが、大正・昭和・平成と国のあり方やそれに伴う武道の存在意義が大きく変動した時代に、ただひたすら修行に明け暮れ、薙刀の真髄を追求めた姿に感銘を受けました。

『私は「駄目だ」なんて思わなかった。「まだ何かある、まだ何かあるはずだ」と思って稽古したのです。』という氏の言葉には、とかく試合や発表会にばかり目が行きがちな我々に、稽古（練習）を続けることで自分自身を創り上げていくことこそがスポーツ・武道の意義であることを再認識させてくれます。

武道実践者はもちろんですが、日頃、スポーツに励み、将来、女子体育指導者を目指す皆さんにもぜひ手に取っていただきたい一冊です。

武道（剣道）研究室 瀬川 剛



◎あくなき向上心(澤田 花江 著／どう出版)

思われていた地上と天界を理論的に統一しました。これこそが彼の発見の最も偉大な点なのです。

この本を読み進めると、このニュートンのようにそれまでの常識にとらわれず、より広く、より統一的な重力理論を追究した科学者の研究が説明されています。少し難しい所もありますが、そこは読み飛ばしても大丈夫。新しい考え方を自分なりに理解した時、身の回りの世界がこれまでと少し変わって見えてくると思います。



◎重力とは何か-アインシュタインから超弦理論へ、宇宙の謎に迫る-(大栗 博 著／幻冬舎新書)

理科研究室 折本 周二